



取組テーマ	取組課所
あなたも今日から入札の達人（電子虎の巻）	入札企画課

現状と課題

公共調達改革の推進

一般競争入札の拡大
電子入札の全面導入
総合評価方式の拡充
etc



3年間で

効果: 入札における競争性、透明性の向上(良いものをより安く調達)

課題: たび重なる入札方式の改善
実務担当者の手続きの煩雑化



制度がまた変わったの？

今の正しい入札方式はどれ？

確か通知が出ていたと思っただけ？？

大きな成果の影に担当者の涙

簡素で利便性の高いツールが必要

POINT!

カイゼンの視点(ねらい)

- ①誰もが入札制度を理解できるようにする。
- ②入札契約手続きにおけるミスを未然に防止する。
- ③公共調達に関する職員の能力向上につなげる。

取組の内容

手続きの円滑化、ミスの防止を図るため、
3つの虎の巻(ツール)を作成



コバトン 推奨!! パツとわかる入札制度早見表 [事務通知文]
※ 入札制度早見表は職員ポータルに掲載

入札制度	●H20.9.25入企第142-
B 入札の不	

困ったときは、

入札制度早見表(電子版)

誰もがすぐ理解できる。

入札契約事例集

入札契約事務チェックリスト

ミス防止する。

誰かがすぐ理解できる。

点とする。技術力が必要な工事はそれ以上も可

地域要件 (原則応札可能者数30者以上とする。一単位地域の設定は不可

原則発注標準を遵守

認める期間は5~15年

成果1：正確なのに簡単、短時間（事務の軽減）



年間の入札件数 約12,000件

調べる

1件 10分間
短縮すると

探す

県全体で『2,000時間』の時間が短縮

成果2：入札はエコなんです！



年間出される通知文 約100枚

通知文を紙で
持たなければ

県全体で『10万枚』の紙の削減



成果3：自ら調べ自ら考える職員に大変身！



豊富なリンクで、背景と
なる法制度を短時間で
自学自習

入札が初め
ての人でも
正しく手続き
が可能



いつでも最新
の手続きが
自動更新



取組課所の
メッセージ

今回の取組によって、入札契約に携わる実務担当者の手続きの円滑化やミスの防止が図れれば幸いです。

今後も公共調達改革の推進とともに、実務担当者の負担軽減が図れるように、利用者の声を聴きながら、新たな支援ツールの作成などに取り組んでいきたいと考えています。